

2018 年度

東京音楽大学・神戸女学院大学

ミュージック・コミュニケーション講座

<http://www.music-communication.com>

## インタラクティブ・コンサートの実践例

### 弦楽四重奏による参加型コンサート

社会と繋がりを持つことのできるアーティスト TA (ティーチング・アーティスト) による参加型コンサート  
の実践例と共に、楽曲を紐解くポイントや、演奏会に組み込めるアクティビティについて  
お話頂きます。



ベートーヴェン作曲

フルート、ヴァイオリンとヴィオラのためのセレナード 二長調 Op.25より 第1楽章

Fl.吉野由香 VI.伊藤みや乃 Va.竹内瑞紀

モーツァルト作曲

『アイネ・クライネ・ナハトムジーク』 ト長調 K.525 より 第1楽章

チャイコフスキー作曲

バレエ音楽『くるみ割り人形』より 「花のワルツ」

Fl.(1st VI.)吉野由香 VI.(2nd VI.)伊藤みや乃 Va.竹内瑞紀 Vc.鈴木佳都紗

2018 年 12 月 7 日 (金)

14:10 ~ 15:40 / A 館地下 100 教室

履修者以外の方も聴講できます！

東京音楽大学より神戸女学院大学へ同時発信

### 久保田 慶一 (国立音楽大学理事・副学長)

1955 年、大阪生まれ。東京芸術大学音楽学部、同大学大学院修士課程を修了。1999 年、東京芸術大学より「博士 (音楽学)」を授与。ドイツ学術交流会の奨学生として、ドイツ連邦共和国のフライブルク大学、ハンブルク大学、ベルリン自由大学に留学。東京学芸大学教授を経て、現在、国立音楽大学理事・副学長。

著書に「C.P.E. バッハ改訂と編曲」「バッハの四兄弟」(音楽之友社)、「バッハキーワード事典」(春秋社)、「エマヌエル・バッハ」(東京書籍)、「音楽とキャリア」(スタイルノート)、「モーツァルト家のキャリア教育」「音楽用語ものしり事典」(アルテスパブリッシング)、「西洋音楽史 100 エピソード」「音楽再発見 100 エピソード」(教育芸術社)、「孤高のピアニスト—梶原完」(ショパン)、編著書に、「はじめての音楽史」(音楽之友社)、「キーワード 150 音楽通論」(アルテスパブリッシング)、「2018 年問題とこれからの音楽教育」(ヤマハミュージック・メディア)がある。また翻訳書には「楽譜を読むチカラ」(音楽之友社)、「モーツァルト殺人法廷」(春秋社)、「ティーチング・アーティスト：音楽の世界に導く職業」(水曜社) などがある。

#### 「ミュージック・コミュニケーション講座」とは？

本講座は、将来、演奏家に限らず、どんな進路に進んでも、音楽大学で培ったものを活かしていけるための能力が身に付く、実践的な講座です。各界で活躍する講師を招き、社会で活躍するために必要なコミュニケーション力、社会性、リーダーシップ、そして柔軟な発想力などを磨きます。授業はインターネット・ビデオ会議システムにより 2 大学をリアルタイムで結び、各大学の学生が同時に同じ授業を受講します。単に授業を受けるのではなく、特別講師の先生方や他大学の学生との質疑応答やディスカッション、時には体を動かすワークショップなどを行い、「コミュニケーション」について実践的に学んでいきます。